

令和5年第4回定例会 一般質問内容一覧

日時 令和5年12月4日（月曜日） 午前9時30分から（質問順 1番から3番まで）
 令和5年12月5日（火曜日） 午前9時30分から（質問順 4番から6番まで）
 場所 新宮町役場 3階 議事堂

質問順	氏名	質問事項	具体的質問内容	答弁者
1番	横大路 政之 議員	1) コミュニティバス（マリンクス）の課題と今後の取組は	<p>コミュニティバス(マリンクス)は平成15年4月の運行開始から20年が経過し、これまで様々な改正を進めてきたことで、運行開始時に比べると利便性が向上してきた。 現在では利用者も増加し、町民にとって欠くことができない重要な生活インフラとなっている。 一方、地域公共交通としてのマリンクスの役割を考えると公平性や持続性などの観点から様々な課題があると考えます。 全国平均より遅いとはいえ、確実に高齢化が進行していく新宮町において、高齢者や障がい者など交通弱者にとって地域公共交通の充実が必要不可欠である。 そこで次のことについて町長の見解を伺う。</p> <p>1 「地域公共交通としてのマリンクスの役割とは何か」認識を伺う。 2 マリンクスの安定的運行を維持していくために、町長が認識している課題を伺う。 3 今後も運行継続は町民にとって必須であり、そのためには課題の解決が重要である。その解決策は財源や時間が必要となることは容易に想定できるが、早急な解決が望まれるのも事実である。今後、どのような方針で取り組んでいく考えか伺う。</p>	町長
2番	庵原 伸一 議員	1) 町合併70周年記念事業の実施は	<p>新宮町は昭和30年4月1日に新宮町と立花村が合併し、令和7年4月1日に合併70周年を迎える。令和7年度に町民が参加できる記念事業を実施することは、町の魅力や将来像を再認識し、広く町民へふるさと新宮町を発信する絶好の機会になると思う。 そこで次の2点を伺う。</p> <p>1 新宮町合併70周年記念事業に取り組むべきと考えるが、町長の見解は。 2 今後のスケジュールや方針について伺う。</p>	町長
		2) 生涯スポーツの推進に向けた体育施設の整備を	<p>健康の保持や増進、体力の向上に対する意欲が高まる中、新宮町スポーツ協会を中心に、子どもから高齢者、障がいのある人が楽しめるスポーツイベントを開催し、住民の健康づくりを支援している。また、スポーツ団体数や競技人口は増加傾向にあり、体育施設のニーズが高まると思う。 そこで、町長の公約である町民体育館・野球専用グラウンド、また、町民から要望が寄せられている弓道場、これらの体育施設の建設は、生涯スポーツの推進に向け重要であると考えます。 そこで次の2点を伺う。</p> <p>1 体育施設の現状、ニーズをどのように認識しているか伺う。 2 体育施設建設に向けて具体的な計画は。</p>	町長 教育長
3番	安武 久美子 議員	1) 子宮頸がん予防のためのワクチン接種対象者への対応と現状は	<p>子宮頸がんなどの予防に効果があるとされているHPV（ヒトパピローマウイルス）ワクチンは、令和4年、積極的勧奨の再開に伴い、キャッチアップ接種が開始された。キャッチアップ接種対象者は、平成9年度から平成18年度（誕生日が1997年4月2日～2007年4月1日）生まれの女性で、過去にHPVワクチンの接種を合計3回受けていない方で、その無料で受けられる接種期間は、令和6年度（令和7年3月）末までの3年間の時限措置となっている。将来の子宮頸がん罹患を減らすためには、この機会に接種を迅速に推進する必要があると考える。 また、HPVワクチンは、HPVが関係する男性特有の陰茎がんなどの疾患に対する予防効果もあり、令和2年12月からは男性も4価ワクチンの任意接種対象となった。 そこで次のことを伺う。</p> <p>1 本町のキャッチアップ接種の進捗状況は。 2 未接種者への接種促進策は。 3 来年度が対象の最終年度となる「高校1年相当の女子」及びキャッチアップ接種対象者の「高校2年相当から27歳の女子」の未接種者全員に対し、最終期限のお知らせ通知をいつ・どのような内容で実施するのか。 4 男性に対して、本町独自で公費助成を行うことはできないか。</p>	町長
4番	大牟田 直人 議員	1) 中学校での子育てサロンの実施を	<p>多くの自治体で、中学校での子育てサロンが実施されており、中学生と乳幼児、その保護者との交流が行われている。近隣では、宗像市、福津市、古賀市、志免町、宇美町などで実施され、地域の子育て支援の拠点となっている。 中学校で子育てサロンを実施することは、中学生にとって、子どもと触れ合う喜びを感じる貴重な機会となり、将来の子育てに対してイメージを膨らませることができ、その不安解消や、少子化対策につながると感じる。また、親が子どもを大切にする姿に触れることにより、豊かな感性を育て、いのちの大切さを実感し、自分も親に大切にされていることを見つめ直すことにもつながる。 乳幼児と保護者にとっては、普段行くことのできない中学校に行き、中学生と触れ合うことで、子どもの健やかな成長や地域との関係づくりにつながり、将来子どもたちが成長したときの姿を実感できる貴重な場になり、地域がつながる協働のまちづくりにも結び付けられると思う。 中学校分離前の平成28年第3回定例会の一般質問では、中学校での子育てサロンの実施について1,000人規模の中学校での実施は困難であるとの答弁を受けた。 中学校分離後の令和元年第4回の定例会の一般質問では、学校のニーズ、子育てサロン側のニーズが一致して成果が期待できるというのであれば、無理なく取り組める体制など、本町の実情に合った取り組み方を今後検討していくことが必要、他の自治体の状況等も見ながら検討していく形も必要との答弁を受けた。 そこで次の2点を伺う。</p> <p>1 中学校での子育てサロン実施に向けた検討状況は。 2 実施に向けた体制を構築し、実施することはできないか。</p>	町長 教育長

質問順	氏名	質問事項	具体的質問内容	答弁者
5番	片岡 誠治 議員	1) 歩道バリアフリー化の現状と課題は	<p>新宮町では、「ユニバーサルデザイン」の考え方に基づく住みよい町づくりが進められており、公共施設ではバリアフリー化が進んでいる。屋外では依然として未整備の場所が見受けられる。</p> <p>特に、横断歩道の段差は、ベビーカーや車いす利用者にとって、大きな障壁となっている。</p> <p>例えば、2センチの段差があると、ベビーカーや車いす利用者は段差を乗り越えるのに、かなりの力を要する。</p> <p>新宮町都市計画マスタープランにおいて、「ゆとりある歩道空間の整備やバリアフリー化などにより、人にやさしい道路空間を形成します。」と町土利用の基本方針が明記されており、歩道の段差については、歩行者、ベビーカー、車いす利用者、視覚に障がいのある人等の安全や利便性を考慮し、段差のないバリアフリー化を推進していく必要があると考える。</p> <p>そこで次の2点を伺う。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 歩道の段差について、どのように認識しているのか伺う。 2 既に始まっている三代・下府地区両土地区画整理事業区域内で施工される歩道を含め、今後、町内で施工される歩道の新設・改修工事については、段差のない歩道、バリアフリー化を基本的な指針としていく考えはあるか伺う。 	町長
6番	西 健太郎 議員	1) 病児保育を利用できる体制整備を	<p>福岡県はすべての児童が病児保育を利用できる体制の整備を進めており、病児保育施設を設置していない市町村もあるため、周辺市町村の病児保育施設を利用できるよう、市町村同士の広域利用協定の締結を促進している。</p> <p>現時点において新宮町は、宗像市、古賀市、福津市と協定を結んでいるが、新宮町内で病児保育を利用できる体制は構築されていない。</p> <p>一方、令和5年4月から福岡県において病児保育利用料無償化事業費補助金が導入されたが、利用者が増加したため、いまだんから病児保育を利用する機会が多い医療従事者からは、かえって利用がしにくくなったとの声も聞く。</p> <p>このような現状を踏まえ、町内で病児保育を利用できる体制を整備すれば、病児保育を利用する子育て世代にとって大きな助けとなると思うが、町長はどのように考えるか見解を伺う。</p> <p>また、JR新宮中央駅周辺に病児保育所を設置すれば、新宮町立地適正化計画にある都市機能を誘導するエリアとしての魅力がより増すと考えられるが、町長はどのように考えるか見解を伺う。</p>	町長

※質問事項、具体的質問内容については、原文のまま記載しています。

※役場、シーオーレ新宮、そびあしんぐうにおいて、議会中継を行っています。是非ご覧ください。

※スマートフォン及びお手元のパソコンから新宮町議会にアクセスしてください。議会中継・録画配信を行っています。是非ご覧ください。

※傍聴の受付は、**役場1階総合案内で、当日午前9時から行います。**

※詳しくは、役場議会事務局 TEL 963-1737（直通）までお問い合わせください。

議会の傍聴にお越しく下さい。